

平成25年度 第3回

西宮市参画と協働に関する条例評価委員会 会議録

日 時：平成25年7月10日（水）午後7時から8時30分

場 所：西宮市役所 東館8階801会議室

出席者：【委員】中川 幾郎（会長）、黒木 順子（副会長）、梶 泰享、川東 美千代、
茶谷 良明、正阿彌 崇子

【事務局】市民総括室参事 田中 智博、市民協働推進課長 三村 嘉伸、
同係長 安座間 昌三、同副主査 岡山 欽哉、同主事 水間 由依

1. 開会

事務局 挨拶

市民総括室参事 田中より挨拶

2. 審議事項

議題1 傍聴に関する取扱について

今回は傍聴者が無しのため省略する。

議題2 平成24年度の協働の取組の評価について

「中高齢者の認知症予防啓発活動」

特定非営利活動法人 認知症予防サポートネット・高齢福祉課

事務局

- ・前回、書類に不備があり評価を保留した事業について、改めて評価をおこなう。
- ・前回の質疑について

「瓦木校区県民ひろばの地域推進委員会と連携したとあるが、この連携は行政が紹介をおこなったのか。」

（回答）

瓦木校区の場合は、委員会と提案団体（認知症予防サポートネット）につながりがあり協働がおこなえた。そのため行政が紹介したわけではない。

- ・概要についての説明

委員

- ・ 場所の提供と広報は行政の役割であり、地域の団体をつなげるのは行政の役割である。行政が積極手に係っていくべきではないか。
- ・ 高齢者の中には NPO を胡散臭いものと疑っている方もいるので、行政からの紹介があれば安心してつながっていくことができる。
- ・ 行政の広報がほとんどできていないと評価しているが、こういった活動は広報がないと人が集まってこないの、広報を考えないといけない。
- ・ 最初の目的は、認知症になる方たちのケアだけでなく、その周りの人も支援していくという視点が記載されているが、途中からは認知症になる前の元気な方たちを支援しているの、対象者にズレがあるように思われ、事業として違和感がある。
- ・ ボランティアや地域の人が自分自身でやっていけるような広がりがあればさらにいい事業になったのではないか。
- ・ 市の評価と提案団体との評価に差があるのが気になる。この差がこの事業の課題ではないか。
- ・ ここでやっている講習はサポートする人を対象としているのか、本人を対象としているのかどちらかわかりにくい。
- ・ 報告書内の「課題及び解決策」のところで参加者が少ない開催があり、その解決策として行政のプログラムを見直す必要があると書いているがどのように見直すのかわからない。
- ・ 市と提案団体で事業に対して目的を明確に共有が出来ていたのか。

会長

- ・ 行政側の課題意識が抜けているのではないか。どちらかという上から見ているように感じる。
- ・ 全般的に行政が実施している制度の枠組みに市民活動が入ってきてほしいという意思を感じる。
- ・ 行政からの指摘が多い割には、きっちりと協議をしてやっているようには見えない。

評価

3. 課題はあるが、ほぼ適切がある。

議題3 協働事業提案手続以外の協働事業の検証について

事務局：

- ・ 協働事業の検証について説明をおこなう。

(1)「西宮市親子劇場」

原水爆禁止西宮市協議会、西宮親子劇場、人権平和推進課

事務局

- ・概要についての説明

委員

- ・担当者と団体との関わりが見えない。協働事業というよりは委託事業のように思われる。
- ・毎年、同じ事を繰り返している事業で、協働事業といえるのかどうか。
- ・会場がフレンテホールに限られており、もう少し広いエリアで実施してほしい。
- ・各団体の事業を寄せ集めただけで、協働の意識がなく実施されているのではないか。
- ・この事業は新しい事をやっていくのが難しい。同じ事を繰り返す事に意味がある。

会長

- ・報告書で課題が無いと記載があるがそれが問題ではないか。

評価

4. 不十分であり改善が必要である。

事前の質問

- ・「課題及び解決策」活動団体記入欄における広報の仕方についてチラシのみの広報か？
その他どのように、広報しているのか知りたい。

(回答)

西宮市政ニュース(今年度は7月10日号の1面)、市のホームページ(原爆展のチラシの一部に掲載)、夏のイベント情報誌「みやたんの夏休み」、市政記者クラブへの資料提供をおこなっている。

- ・チラシ配布 市 9,000 枚 教職員組合 49,000 枚となっているが 公立幼小中学校に重点的に配布されているのか。私立には、配布されていないのか。

(回答)

公立の幼小中学校の生徒ひとりひとりに配布している。私立の中・高校には各校20部ずつ配布している。

(2)「西宮市青少年問題フォーラム」

西宮市青少年愛護協議会、西宮市青少年補導委員連絡協議会、西宮市PTA協議会、西宮市保護司会、西宮地区薬物乱用防止指導員協議会、青少年施策推進課

事務局

- ・概要についての説明

委員

- ・市が企画運営し、各団体が人を集めており、フォーラムというよりは公演会になっている。
- ・ここまで費用を掛けて実施すべきものなのか。もっと違うやり方ができるのではないか。
- ・団体がたくさん関わっているが、毎年、似たような事をしておりマンネリ化している。

- ・動員をかけずに、広報で多くの方が来てくれるような PR 方法を考えなければいけないのではないか。
- ・動員が中心であれば、チラシをたくさん印刷する必要がないのでは。

会長

- ・フォーラムはオープンにして多くの方が意見を交わせる場所であるはずが、いつの間に公演会に変わってしまったのか。
- ・各団体が関わっているので、各団体の悩みや現状認識があるはずなので、それを議論して今年目標を考えるべきだがそのプロセスが見えない。結局、各団体が動員団体になっているようにしかみえない。

評価：

- 4．不十分であり改善が必要である。

事前の質問

- ・報告書「事業の役割分担」活動団体 広報とあり「課題及び解決策」市記入欄に 広報の仕方を工夫する必要があると書かれているが、双方で意思の疎通はなされているのか。

(回答)

担当課と活動団体間で意思の疎通はおこなえている。青少年問題フォーラムは、多くの方に青少年問題への意識を持っていただくために、団体以外の一般市民にも広く呼びかけをおこなっていきたいと考えている。そのため広報に力を入れていく必要があるので課題にあげている。

(3)「カレッジタウン西宮」推進事業

西宮市大学交流協議会、大学・生涯学習推進課

事務局

- ・概要についての説明

委員

- ・事業が多岐にわたっているとあるが、各事業が列挙されているのだけなので、何がどうなっているかわかならない。
- ・市内の人に向けているというよりは、市外に向けてアピールするためのもの。
- ・協働事業だから出来ているというものを書いてほしい。
- ・行政の関わりが見えにくい。
- ・各大学の特性を活かして、協働に発展していけばいいがそこまで出来ておらず、また、総合計画との整合性もみえない。
- ・費用の面からみると協働事業ではなく委託事業ではないか。
- ・行政が本格的に大学交流協議会と手を組んで実施すれば全国的にもおもしろい事例になる。

- ・市内に大学があるからできる取組であるので、西宮にとっては財産である。それをもっと活かしていかないといけない。

会長：

- ・カレッジタウンの4つの柱のうち、市として協議をおこない責任を分担している事業がどれなのかわからない。
- ・4つの柱のコンセプトに基づいてどのような協働をおこなったのか検証・分析が必要である。そうしないと市としての役割が埋没してしまうのではないか。
- ・行政のリーダーシップやコーディネートが不足している。

評価：

4. 不十分であり改善が必要である

(意見付記) 提出されている資料では評価が難しい

事前の質問

- ・報告書 「事業の取り組み・・・」フェスタ当日講演会 18名 とあるが定員100名に対して18名だったのか。

(回答)

フェスタ当日講演会 については定員100名に対し、申込みが26名で、当日参加者が18名でした。フェスタ参加者の多くが乳幼児をつれたご家族や友達同士の小学生が多く、1時間の講演会には人が集まりにくかったと思われる。また、当日に欠席される方も多かったのも要因として考えられる。

- ・「課題及び解決策」 参加者へのアピール等が足りなかった とあるがもう少し詳しく

(回答)

教室の広報はできたが、事業の進捗状況等の公開が不十分であった点において事前アピールできなかった。

(4) 「にしのみや食育フェスタ2012」

西宮市食育、食の安全安心推進協議会、兵庫栄養調理製菓専門学校、JA 兵庫六甲西宮営農支援センター、生活協同組合コープこうべ、西宮いずみ会、西宮菓子工業組合、西宮市歯科医師会、西宮市食品衛生協会、近畿中央ヤクルト販売株式会社、マックスバリュ西日本株式会社、武庫川女子大学(薬学部/国際健康開発研究所 Healthy+)、森永乳業株式会社、健康増進課

事務局

- ・概要についての説明

委員

- ・報告書がわかりやく書かれており、また、多くの団体と協働としているので、今後も継続

して活動をおこなってほしい。

- ・運営会議が3回とあるが企画そのものはどちらが決めたか役割分担が少しわかりにくいので、そこが明確にされていればよかった。
- ・事業当日の参加人数が明記されていなかった為、人数がわからなかったが、アンケート結果が560枚となっているので、かなりの方が参加されているとわかった。人数が明記されていると雰囲気伝わったのでは。
- ・各団体が情報を発信していこうとする動きがあるのですばらしいと思う。
- ・事業の実施後に内容の反省を共有し、次年度の計画を建てているため、評価できる。

会長

- ・民間の資源をうまく引き出して実施している。よくがんばっている。

評価

1. 優れている

(5)「西宮市市民健康講座」

関西学院大学 中央病院 医事課

事務局

- ・概要についての説明

委員

- ・病院だけで実施するよりは関西学院と協働することで市民に理解ができたのであれば意味があったと思われる。
- ・いい事業であると思うが、費用は記載されている以上に掛かっているように感じる。
- ・中央病院のPRのひとつというイメージを受ける。

会長

- ・大学等の資源をうまく活かして、優れた効果をあげているのではないかな。

評価

2. 適切である

議題4 平成24年度参画と協働の取組状況評価報告書(案)について

事務局：

平成24年度の報告書について説明をおこなう

委員

- ・修正箇所については各委員に聞いて、電子メールで確認をとるほうがいいのではないかな。

- ・今日の分をまとめて送付されると時間がかかるので、出来ているものを先に電子メールで送ってほしい。

3．その他

事務局：

本日で評価委員会の任期が終了になるので2年間の振り返りをおこなう

委員

- ・色々な事を勉強させていただきありがとうございました。
- ・主婦だったのが違う目線を持つことができるようになった。これからも色々と学んでいきたい。
- ・これまで市外で活動や仕事をするが多かったので、逆に西宮のことを知る事ができ、同時にこういった方々と出会えてよかった。
- ・的外れなことを多々言って申し訳なかった。ただ、横紙破り的な見方をすべきと行政の仕事をしていて感じていたので、今回はそこに特化して発言をおこなった。
- ・辛口な意見をたくさん言ったが、こういった会議では、「次はもっとよく」と思うので、現状のまま満足してはいけないので色々と発言をさせてもらった。

会長

- ・西宮は市民も役所もレベルが高い。それは自信をもっていい。そして、この委員会の役割として、せつかく参画と協働の条例を作ったのだから、その主旨に沿って行政の側は改革し、また、市民の側も力をつけて行政の経営に乗り込んでいけるような市民層を増やしていく、そういった一助になればと思う。

4．事務連絡

事務局：

8月中旬を目処に報告書を作成していく予定

5．閉会